

ハンス・フィッシャー絵本の世界展

2001年9月22日(土) - 11月4日(日) 刈谷市美術館 「箱 〴美術」と同時開催(第3展示室)
第1、第2展示室・特別展示室

休館日：9月25日(月)、10月1日(月)、9日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月) ※月曜日(祝・休日の場合は開館し、翌日(火曜日)が休館となります)

開館時間：午前9時～午後5時(ただし、金、土曜日は午後7時まで、入館は閉館時間の30分前まで)

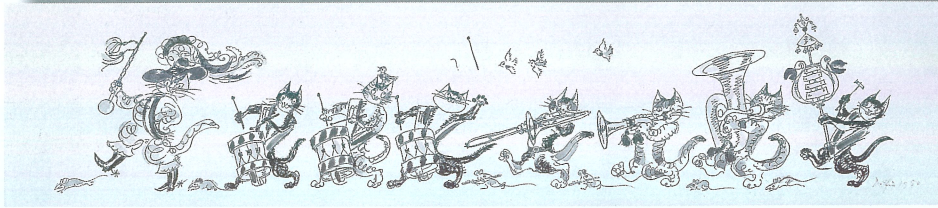
主催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、中日新聞社 後援：スイス大使館、日本国際児童図書評議会、愛知県教育委員会 協力：小さな絵本美術館



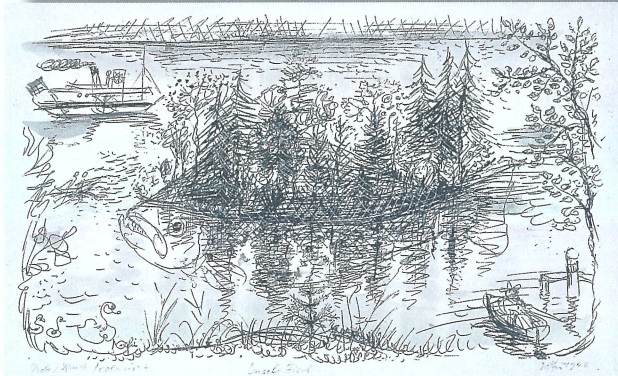
「ブレーメンのおんがくたい」1944年 © Hans Fischer

H a n s F i s c h e r

ハンス・フィッシャー絵本の世界展



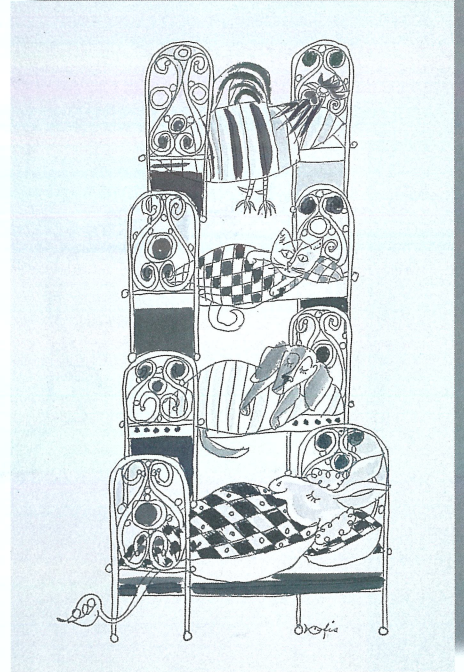
「らんぶんぶん」1951年



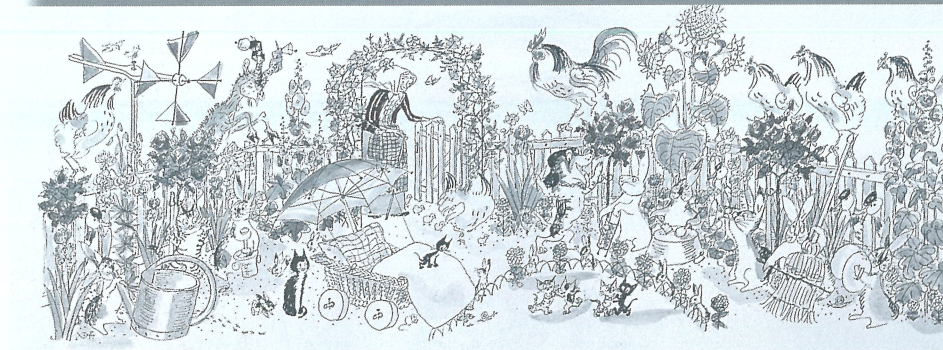
「魚の小島」1946年



「長ぐつをはいたねこ」1957年



「ブレーメンのおんがくたい」1944年



「こねこのぴっち」1948年

© Hans Fischer

「ブレーメンのおんがくたい」や「こねこのぴっち」などの絵本の作家として親しまれているハンス・フィッシャー。彼は絵本の仕事の一方で、版画家、壁画家、そして舞台美術家として、多岐にわたる分野で優れた作品を生みだしたスイスの芸術家です。

1909年ベルン市で生まれたフィッシャーは、生涯のほとんどを美しい自然に囲まれた故国スイスで過ごします。はじめに装飾画を、チューリッヒの工芸学校で版画を学んだあと、パリの広告会社で働きながら勉強をつづけました。帰国後の1933年頃から、雑誌の諷刺画やアニメーションなどのさまざまな仕事を始めます。1938年には、最初の壁画をベルン動物園に描き、晩年まで精力的に壁画の制作に取り組みました。1944年のはじめの絵本「ブレーメンのおんがくたい」を長女ウルスラへのクリスマスプレゼントとして贈り、以後、49歳で亡くなるまで子どものための本を発表しつづけました。また、国際的な版画家として1952年のヴェネチア・ビエンナーレ展に出品し、1955年のサンパウロ・ビエンナーレ展ではグラフィック賞を受賞しています。

子どものための絵本や壁画、版画、舞台美術。多様な作品群には、フィッシャーの一貫した作風が存在しています。リズムカルで生き生きとした線描と軽やかで繊細な色彩。そして、自然と子どもと音楽をこよなく愛したフィッシャーのあたたかなまなざし。絵本にも壁画にも版画にも、彼の愛する生きものがイマジネーション豊かに登場し、すべての作品が互いに響きあいながら、彼の芸術世界を構成しています。

今回の展覧会では、「ブレーメンのおんがくたい」や「こねこのぴっち」をはじめとした絵本原画や素描、貴重な手描き本、壁画の下絵、教科書のさし絵など約150点をご紹介します。軽快でピュアな魅力にみちたフィッシャー芸術をお楽しみください。

会期中の催しもの

①講演会

「ハンス・フィッシャーの絵本世界」(仮称)

9月24日(月・祝日) 午後2時→3時30分

講師：松居直氏(福音館書店相談役)

ところ：美術館2階研修室 定員：100名

聴講無料(要展覧会チケット・当日受付、先着順)

②つくる⇔みるプログラム

(1)「ひとふで・カードづくり」

9月23日(日) ①午前10時→正午 ②午後2時→4時

対象：5才→小学3年生

内容：くねくね、ぐるぐる。いろんな線を描いたら、なかから何かの姿が見えてきます。ねこ、うさぎ、いぬ。それとも?

(2)「パレード絵本」

10月7日(日) 午前10時30分→午後3時30分

対象：小学4年生→大人

内容：現在、過去、未来。異なった時間の流れを組み合わせ、どんどんつづく絵本をつくります。ごちゃまぜ時間のパレード絵本、それはあなただけのオリジナル。

講師：山口ももこさん(美術家)

ところ：美術館2階研修室

参加費：100円(レクイエーション保険代) ※要展覧会チケット
定員：各24名

申し込み方法：「往復はがき」か「FAX」にて、参加したいプログラム名[時間帯も明記]、参加者名(ふりがな)、住所、TEL/FAX、年齢、学年・学校名、保護者名を記入のうえ美術館までお申し込みください。なお、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。

※定員をこえた場合は抽選とし、結果をお知らせします。

※しめきりは、それぞれの開催日の10日前(必着)まで。

あて先：〒448-0852 刈谷市住吉町4-5

刈谷市美術館 FAX0566-26-0511